

はじめに

この資料は、平成 21 年 4 月 1 日現在の県内における自動車保有台数を、静岡県総務部財務局税務室、同自治局自治財政室及び中部運輸局静岡運輸支局の資料をもとに市町別・車種別にとりまとめたものです。

なお、主要な統計表はインターネット上の「統計センターしずおか」から、EXCEL 形式のファイルをダウンロードしてご利用いただけます。(http://toukei.pref.shizuoka.jp/)

1 用語の解説

(1) 自動車とは、道路運送車両法の規定による自動車及び原動機付自転車をいう。

(2) 車種の区分は、次のとおりである。

車 種		解 説
乗 用 車 ※1	普通乗用車	乗用の普通自動車（総排気量 2000cc、車体の長さ 4.7m、幅 1.7m、高さ 2.0m のいずれかを超えるもの）
	小型乗用車	乗用の小型自動車（総排気量 2000cc、車体の長さ 4.7m、幅 1.7m、高さ 2.0m 以下のもの）
準乗用車		貨客兼用の普通自動車、小型自動車で、乗用車に準ずるもの
ト ラ ッ ク 等	トラック	貨物運送用の普通自動車、小型自動車
	トレーラ	けん引車、被けん引車
	三輪車	三輪の小型自動車
特殊用途自動車		霊柩車、放送宣伝車、救急車、消防車、その他特殊の用途に供するもの
大型特殊自動車		カタピラを有する自動車、ロードローラ、タイヤローラ、フォークリフト、農耕作業自動車、土木作業用けん引自動車等で、軽自動車、小型特殊自動車以外のもの
バス		乗車定員 11 人以上の普通自動車
軽 自 動 車	軽乗用車 ※2	乗用の四輪の軽自動車（総排気量 660cc 以下、車体の長さ 3.40m、幅 1.48m、高さ 2.0m 以下のもの。以下軽自動車において同じ）
	軽貨物車	貨物運送用の四輪の軽自動車
	軽三輪車	三輪の軽自動車
二輪・原付		自動二輪車、原動機付自転車（ミニカーを含む）
小型特殊自動車		カタピラを有する自動車、ロードローラ、タイヤローラ、フォークリフト、農耕作業自動車、土木作業用けん引自動車等で、車体の長さ 4.7m、幅 1.7m、高さ 2.8m 以下で、最高速度時速 15km 以下のもの

(3) 乗用車（上記※1）のうち自家用のもの、及び軽乗用車（上記※2）を「自家用乗用車」という。

2 資料の出所

- (1) 乗用車、準乗用車、トラック、特殊用途自動車及びバスの保有台数は、県税務室の「自動車課税資料（平成 21 年 4 月 1 日現在）」による。
- (2) 軽自動車、二輪・原付及び小型特殊自動車の保有台数は、県自治財政室の「軽自動車の車種別台数に関する調（平成 21 年 4 月 1 日現在）」による。
- (3) 大型特殊自動車の保有台数は、中部運輸局静岡運輸支局の「自動車保有車両数調（平成 21 年 3 月 31 日現在）」による。

3 利用上の注意

- (1) この資料の自動車保有台数は、上記 2 (1) 及び(2)を中心にとりまとめた数値であり、中部運輸局静岡運輸支局が発表する「静岡県自動車保有車両数調」の数値とは異なる。
- (2) 大型特殊自動車は市町別の数値が把握できないため、県計に一括計上してある。
- (3) 図表中の数値（比率）は四捨五入してあるため、個々の数値を加えたものと異なる場合がある。

照会先 静岡県企画部政策推進局 生活統計室 就業係 TEL 054 (221) 2239

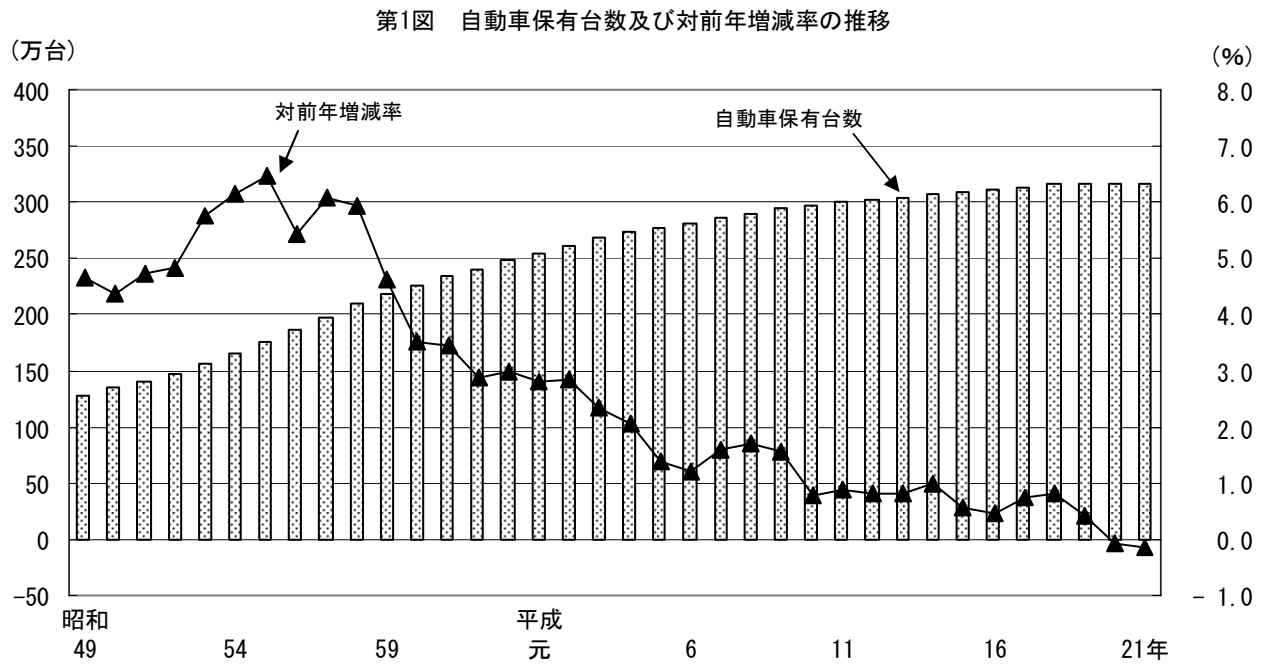
平成 21 年静岡県 の自動車保有台数調査結果の概要

1 自動車保有台数

(1) 自動車保有台数は 2 年連続で前年より減少

平成 21 年 4 月 1 日現在の県内の自動車保有台数は 3,162,849 台で、前年 3,167,367 台と比べ 4,518 台 (0.14%) の減となり、昨年の-0.07%に引き続き 2 年連続で前年より減少した。

<第 1 図>



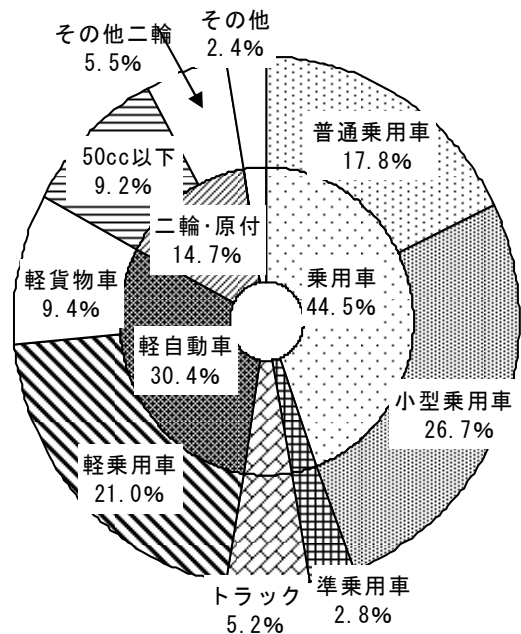
2 車種別保有台数

(1) 全体の 44.5%が乗用車

車種別の内訳をみると、乗用車が 44.5% を占め、次いで軽自動車 30.4%、二輪・原付 14.7%、トラック 5.2%、準乗用車 2.8% などとなっている。

<第 2 図>

第 2 図 自動車の車種別構成比

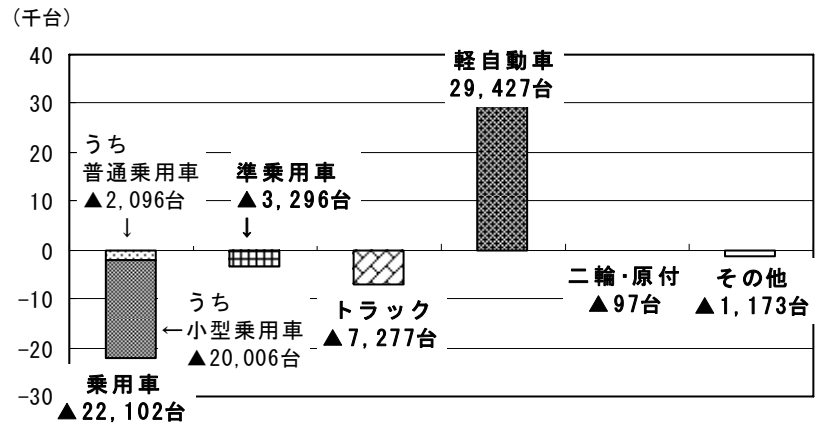


(2) 軽自動車は前年より増加

車種別に前年と比較すると、軽自動車は29,427台（前年比+3.2%）の増加となっている。

一方、乗用車をはじめとして、二輪・原付、トラックなどは前年より減少となっている。特に普通乗用車は、2,096台（-0.4%）の減となり、昭和44年の調査開始以来はじめて、減少した。〈第3図〉

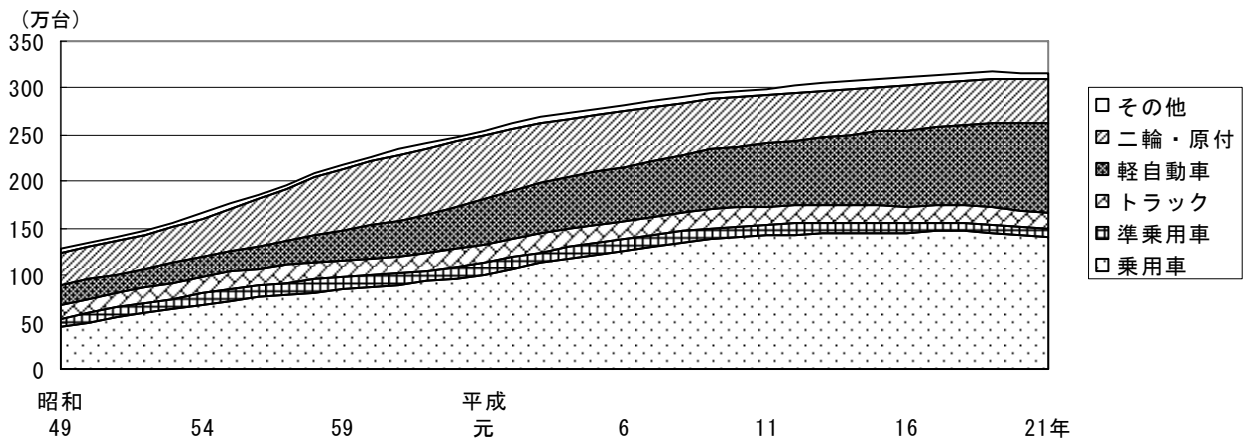
第3図 主要車種別対前年増減台数



(3) 長期的に軽自動車が増加傾向

車種別の推移を長期的にみると、軽自動車は昭和53年から一貫して増加しているが、乗用車は平成19年から3年連続で減少、二輪・原付は昭和62年をピークとして減少傾向が続いている。〈第4図〉

第4図 車種別保有台数の推移



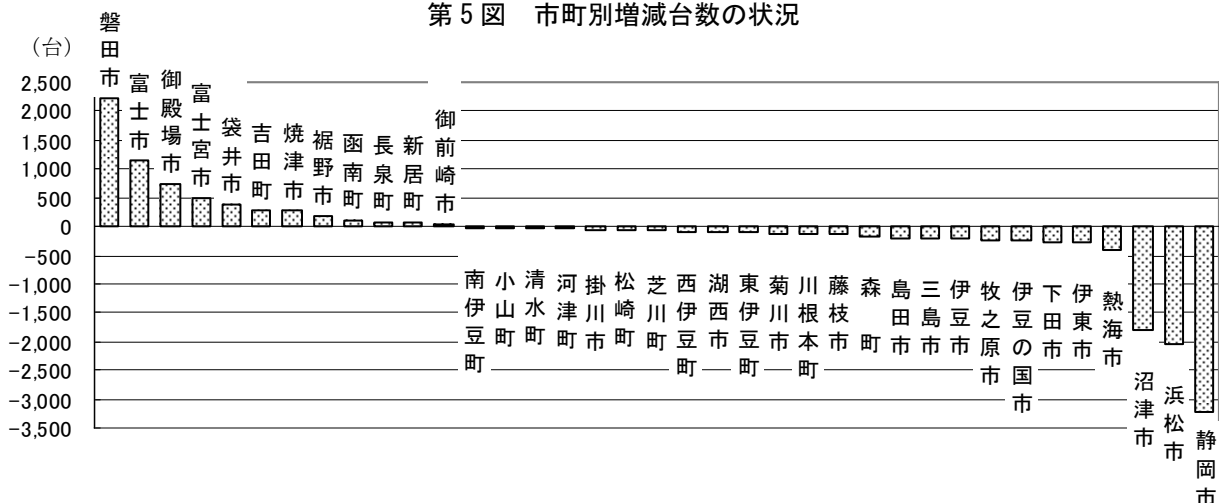
3 市町別保有台数

(1) 12市町が前年より増加、25市町が前年より減少

市町別の自動車保有台数をみると、12市町が前年より増加し、25市町が前年より減少。

自動車保有台数が増加した市町は、磐田市2,213台（対前年比+1.4%）、富士市1,141台（対前年比+0.5%）など、減少した市町は、静岡市3,229台（-0.5%）、浜松市2,036台（-0.3%）、沼津市1,809台（-1.1%）などである。〈第5図〉

第5図 市町別増減台数の状況



4 自家用乗用車の状況

(1) 自家用乗用車は前年に比べ+0.5%の増加

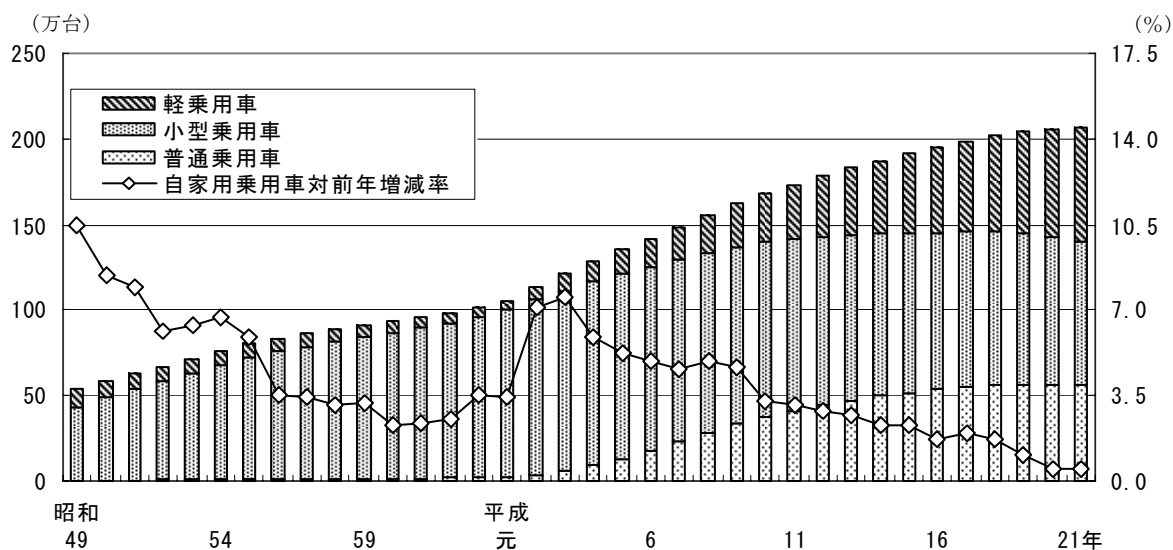
自動車保有台数のうち、自家用乗用車（普通乗用車、小型乗用車のうち自家用のもの、及び軽乗用車）は2,063,281台で、自動車全体の65.2%を占めている。

これを前年2,052,395台と比べると10,886台（+0.5%）の微増となっている。〈第6図〉

(2) 自家用の軽乗用車は、長期的に増加傾向

自家用乗用車の内訳を長期的にみると、普通乗用車は、昭和44年の調査開始以来、毎年増加してきたが、今年をはじめ前年より減少となった。なお、小型乗用車は平成5年をピークに減少を続けている。軽乗用車は平成2年から一貫して増加し、特にここ数年では軽乗用車の伸びが著しい。〈第6図〉

第6図 自家用乗用車の車種別保有台数の推移



(3) 自家用乗用車1台あたり人口は1.84人で、前年に比べ0.01人の減少

自家用乗用車1台あたりの人口は1.84人で、前年に比べ0.01人の減少となっている。

また、自家用乗用車の1世帯あたり保有台数は1.46台で、前年に比べ0.01台の減少となっている。〈第7図〉

第7図 自家用乗用車の1台あたり人口及び世帯あたり保有台数

